

印刷所 國
印刷 美拓 社有 限

A組は、「長かったよ
 うで短かった3年間」、
 「友達って大事……」など
 高校生活を振り返って
 のコメントが多かった。
 また、「学校のジレンクス
 (学祭のことか?)」に絶
 望していたというコメ
 ントも。B組は、「うる
 さいクラスだと思っ
 たことが何度もある」「授
 業が眠い」など、クラス
 環境や授業へのコメン
 トが多々ある中、「もっ
 と勉強すればよかった」
 という後悔のコメント
 があった。C組は、「寒
 は学校の前の、何もな
 いところで転んだ」「二時
 期〇〇〇〇を持ってき
 ていた」など、暴露話
 が披露された。D組は
 「進路活動が本当に大変
 という苦労話や」「休み
 が少なすぎる」と不満
 の声があった。(木村)

私達の未来
ひらけゴマ!



A組は、感謝の言葉の他に、「血圧に氣をつけてください」、「ずっと元気でいてください」など、身体を氣遣うコメントが多くあった。B組は、「3年間ありがとうございました」、「お世話になりました」などのコメントや、「いつか家を探して当てます」、「長生きしてください」というユニークなコメントもあった。（木村）

今回は、私は山田陽未(30歳)です。三年間吹奏楽部の大トリ、に所屬していました。D組40番のパートリーダーとして山田さんを皆をまとめることが大変でしたが、コンクール紹介します。

ルで皆の心を一つにで
きた時はとても楽しか
ったです。

趣味はピアノを弾く
ことと、映画鑑賞で、
「バック・トゥ・ザ・フ
ューチャー」が好き
です。

進路は札幌大谷大学
の音楽学科に決まりま
した。音楽を極めま
す！

（豊島）

ムズキューン♡

⑤ 3年間の担任を終えてみて、来年は何をしたいですか
⑥ 卒業生に向けてひとこと

ク・トウ・

3D ①協調性
がある
ところ
②調子に乗りや
すいこと
③担任の誕生日
を祝ってくれたこと
④生徒…多少は大人になっ
た？
先生…年齢とともに、体
力の衰えが…
⑤体を鍛えたい
⑥芽高の卒業生として自信
と誇りを持って頑張って
下さい



3D担任
菅原俊博

全てのコーンとりの産物の現わつぷちチャレンジ

まだまだ寒いこの時期には温かい飲み物が飲みたくなるだろう。たとえばコンポタージュ。しかし最後にコーンが残ることはないだろうか。そこで我々は、コーンを残さない飲み方を徹底検証した。なお、調査したコンポタージュは芽高の自販の「食べるコーンポタージュ」。コーンの総数はネットの調査によると26粒だ。



①何もしないで飲む
「粒が落ちてこなかったの食べる要素ゼロでした(K井)」
残ったコーン10粒



②半分まで飲み、回してから再度飲む
「後半の追い上げが良かったです(T島)」
残ったコーン6粒



③事前にたくさん振る
「めっちゃ振りました(K村)」
残ったコーン4粒

コーン残り0粒
なんてことは果たしてあるのか? 次号、波乱の展開へ!! (上村)

卒業生ロングインタビュー 進路実現へのロードマップ

高校3年間で学びを経て、自分の未来のスタートラインに立った3年生。今回は民間企業、公務員、4年制大学、専門学校に進む4人の生徒に進路実現まで取材した。

川角瑠奈さん(3A)は、株式会社明治に就職が決まった。川角さんが当初目指していたのは公務員。しかしすべて不合格で、ここからの方向転換だった。



川角瑠奈さん
株式会社明治

あきらめず、がんばること

やはり、方向転換は大変なことも多かった。特に苦戦したのは面接練習。友達に返答や対応の仕方を聞き、何度も練習したそうだ。その甲斐あっての内に、「公務員試験の2次試験に自分一人

だけ落ちて、そこから苦勞して頑張った結果、だから、すごく嬉しい」と話した。
最後に後輩へ「自分が行きたいところに行

横山和樹さん(3D)は、北海道教育大学釧路校に進路が決まった。
小学校の頃から、社会科の教師になることを目指していた横山さん。自分の目指す授業を「勉強が楽しいと思えるような授業をした

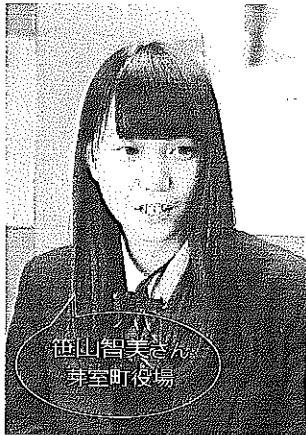


横山和樹さん
北海道教育大学釧路校

勉強が楽しいと思えるような授業をしたい

き地教育に興味があった。5つある教育大学のうち、へき地教育を学べるのは釧路校だったから」と話した。
最後に後輩へ「勉強

勉強は早めに!



伊田祐香里さん
芽室町役場

知識に見合った技術を



伊田祐香里さん
北海道メディカル・スポーツ専門学校

伊田祐香里さん(3C)は、北海道メディカル・スポーツ専門学校に入学が決まった。伊田さんの夢は、柔道整復師(怪我に対して手術や薬を使わず、回復させる専門家)になること。「スポーツが好きなこと、親が看護師ということで、最終的に双方に関係している柔道整復師を目指した」と語る。合格のために伊田さんはオープンキャンパスや進学相談会があれば必ず

行き、顔を覚えてもらう頑張る」と話す。後輩へは「専門学校は専門分野を学ぶ場所。本気で蓄えても仕方がない。それに合った技術を身につけられるよ」と話した。(木村)

あーりんのなぞかけ

すばらしい未来とかけまして
気になっている人と両思いとく
その心は...? 編集後記へ

なぞかけ答え
どちらも同じ
素敵なひととき・人と気があります

編集後記

この頃、よくベッドにいる気がします。僕はお友達のベッドくんとお別れしますが、3

年生方は学校とお別れですね。ご卒業おめでとうございます。(亀井)
局長 鈴木裕里加(2A)
副局長 木村 麻愛(2D)
編集長 上村 りの(1A)
大橋 航(2C)
亀井 賢吾(2C)
豊島 翔太(1A)
藤田明日香(1D)
顧問 石森由香利

インフルエンザ
猛威を振るう
全国的に流行中のインフルエンザ。芽高では2月2日に2年A組、翌日にB組が学級閉鎖となった。2年A組担任の佐々木孝先生は「クラスに生徒がいなくて寂しい」、B組担任の山中剛先生は「事前の健康管理をしなかった」と話した。
養護教諭の佐々木繁織先生は「かからないこと・重くしないこと・広げないことが大事。そしてちゃんと自分の身体の声を聞いて」と話す。なお、咳をする時は手で口を覆うのではなく肘で覆うのが有効だ。(鈴木)

Y田エンターテインメント
これまでのあらすじ
18歳 成人式、25歳 真琴といつも良い雰囲気になりつち、最後の毎日が閉けずにつれ違っていたY田。
そんな頃30歳になった。
長い年月が経った。
今勤める会社はブラック企業。ただ働くだけの社畜の俺。今日のようないきなり休日にパッティングセンターに行くことだけが楽しみだ。
「Y田...?」
振り向くとそこには「真琴!!!」
「何で俺の居場所が?」
「そりゃあわかるよ。」
「だって言わなくちゃ。」
今日こそ、Y田に...
「おねえ!! 25歳の時の再会は借りていた漫画を破いたオチだったか?」
「今度こそ告白か?」
「この話、今日で最終回なんだって!」 (終)